



大声でつぶやく けったいな町医者

作家・医学博士 長尾和宏

「間違ってもいいじゃないの。機械じやないのだから」
フジコ・ヘミングのこの言葉にどれだけ励まされるか。ラ・カンパネラは何度聞いても涙が出るのはなぜ。
「魂のピアニスト逝く」フジコ・ヘミング(NHKスペシャル) 16歳で中耳炎にかかり右耳の聴力を喪失した。東京芸大を経てドイツに留学予定になった時に日本人でもスウェーデン人でもなく国籍がないことが判明。そして29歳のときに「無国籍人」としてドイツに留学した。「国籍なんでもいいじゃない」。生涯独身で24匹の猫が家族だった。「ショパンとリスのために生まれたピアニスト」と評された。彼女が一番弾きた曲は「ラ・カンパネラ」だった。「奇跡のラ・カンパネラ」を聞いて欲しい。イタリアのシエナのバイオリニス

魂のピアニスト、フジコ・ヘミング

「間違ってもいいじゃない」に励まされている。僕のライフは間違いだらけだけど嬉しいことに応援してくれる人がいる。それが僕にエネルギーを与えてくれる。
N.S.へでは彼女が死の直前に弾いている姿があった。音楽ってまさに音が出るだけでいいんだ。音が出るということとは生きていくということなんだ。幼稚園児のようなになったフジコさんの姿には涙が出た。それが人生最後のピアノ。彼女は嘘を閉じるように自分でピアノの扉を閉じた。ピアノで泣くことはあまりないけども彼女のピアノはなぜか誘い涙である。

PS #56のニコニコ長尾チャンネル生放

東 大 阪

令和6年6月15日(土)

送のゲストは舛添要一さん。テーマは「政治家の嘘」。彼は民間人なので忌憚のない楽しい話が聞けるだろう。乞うご期待。



ラ・カンパネラ 魂のピアニスト逝くフジコ・ヘミング(NHKスペシャル)



政治家の嘘 悪魔のバイオリニス